

新年のご挨拶

高知大学医学部附属病院
光線医療センター
センター長 花崎 和弘

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。平成から新年号となります節目の年を迎えました。皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

光線医療センターニュースレター第2号は2018年10月1日付で光線医療センター専属研究員に就任された中山 沢先生のラボ立ち上げ奮闘記です。中山先生は学内外の研究者および関係者との交流を積極的に行いながら、12月19日の第2回高知光線医療セミナーでは「5-アミノレブリン酸を用いた光線力学技術と抗がん剤併用の最前線：基礎研究者たちが解き明かそうとしているもの」の特別講演を行いました。今後益々のご活躍が期待されています。

2019年も光線医療センターを何卒宜しくお願い申し上げます。



実験室の発足

皆様、明けましておめでとうございます。光線医療センターでは、2018年の10月より専用の実験室の発足に向けて活動を行っております。大学・機器メーカー・販売代理店の多くの方々のご協力があり、2019年の3月にバイオセーフティーレベル2の実験室が発足いたします。レベル2の実験室は

大部分の基礎医学の研究を遂行可能な実験室であり、世界保健機構が2003年に定めた実験室バイオセーフティマニュアル(改訂版)において、「ヒトあるいは動物疾病を引き起こす病原体であるが、実験室作業、集団、家畜、または環境に重篤な危害となる見込みのない病原体。実験室で被曝すると重篤な感染を引き起こす可能性があるが、有効な治療および予防手段が提供されており、感染が広がる危険性が限られている。」と定められております。本実験室の発足とともに光線医療センターの研究が益々盛んに行われることとなります。医工連携・産学連携を進める上で使いやすい実験室を構築してまいります。皆様、今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



安全キャビネット

光線医療センター ニュースレター

第2号 2019年1月24日 発行

発行責任者：花崎 和弘

(高知大学医学部附属病院光線医療センター センター長)

編集責任者：井上 啓史

(高知大学医学部附属病院光線医療センター 副センター長)

<https://www.kochi-ms.ac.jp/~hsptl/guidance/onespost/photodynamic.html>